



連携いっわい

令和5年3月

第38号

岩手県立磐井病院

一関在宅緩和ケア支援ネットワーク講演会



毎年恒例となりました、一関在宅緩和ケア支援ネットワーク（以下、IZAK）主催の特別講演会が、令和5年2月21日（火）に開催されました。今回は一関市藤沢町にある時宗 不退山 長徳寺のご住職であり臨床宗教師として活動される、渋谷真之さんをお招きしてご講演を頂きました。渋谷さんは、海外の病院での活動経験を活かし、岩手県で唯一の臨床宗教師として、一関市に限らず岩手県南から宮城県北まで幅広く活動されております。渋谷さんには「患者さんが話しているのは私（臨床宗教師）ではなくその後ろにいる信仰対象、無宗教の方はその人なりの信念。患者さんの心の拠り所を尊重しながら寄り添っています」とスピリチュアルヘルスの意味や可能性についてお話いただきました。

また、「臨床宗教師は、依頼される病院によって一切宗教感を出さないでほしいと言われていたり、逆にお坊さん感を出していいと言われていたり様々です」と多神教とも無宗教とも言われる日本の臨床宗教師ならではのお話しをお伺いすることもできました。

4月には一関市に岩手県で2人目の臨床宗教師が誕生する予定とのことで、より一層のご活躍が期待されております。

IZAKとは？・・・がんを患っていて、最後の時を自宅で迎えたいと希望される方やご家族の最期を、自宅で看取りたいと考えておられる方々を支援するために結成されたネットワーク組織です。

一関地域（岩手県）の複数の医療機関や複数の職種（例えば、調剤薬局・訪問看護ステーション・ケアマネージャー・ホームヘルパーなど）が協力し合い、安心して自宅での療養が続けられるよう、お手伝いをする在宅緩和ケア支援のネットワークです。

新規会員も募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

一関在宅緩和ケア支援ネットワーク（IZAK：アイザック）事務局

一関市狐禅寺字大平17番地

（岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室内）

電話：0191-23-3452 FAX：0191-21-3990



<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

<岩手県立磐井病院 基本方針>

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行います。

Contents

- 一関在宅緩和ケア支援ネットワーク講演会・・・1
- 認知症ケア5つのポイント・・・2
- 研修を終えて・・・3
- 医療福祉相談のご案内・・・4
- 患者紹介について・・・4

認知症ケア5つのポイント

認知症看護認定看護師 石川 秀輝



2022年に認知症看護認定看護師を取得し、院内でオレンジサポートチームとして活動しております。

認知症高齢者は、**2025年に約700万人**（65歳以上の高齢者の約**5人に1人**）に達することが見込まれており、今や認知症は、**誰もが関わる可能性のある身近な病気**です。

認知症の患者さんのケアを行う際は、本人の力を引き出し、暮らしを支える関わり方を知っておく必要があります。それには、患者さんが安心できる**環境の作り方**、**見当識を意識した接し方**、**共感すること**などが大切になります。5つのポイントに絞り、紹介したいと思います。

1. 患者さんの暮らしを意識し、なじみやすい環境を作る

急激な環境の変化がストレスとなり、入院後は一時的に混乱状態に陥り、BPSDやせん妄を起こすことがあります。

普段、家で使っている湯のみや、家族の写真など、**暮らしを思わせるものを置く**と落ち着きやすくなります。さらに、カレンダーや今がいつかを感じられる季節のものを置き、**見当識を刺激**することも大切です。



2. 自己紹介とリアリティ・オリエンテーションは積極的に

記憶障害により名前を覚えられず、**なじみの関係になるまでは常に初対面**となります。また、見当識障害により、過去・現在・未来という時間の流れがつながっていません。

「こんにちは、〇〇といます。△△さんでいらっしゃいますか？」と**その都度、自己紹介**をしましょう。「ごはんですよ」と伝えるだけではなく、「朝ごはんの時間ですので、お手洗いにいきませんか？」と**今がいつで、何をするのか**をセットで伝えていきましょう。



3. 共感することを恐れない

病気を治すという**患者役割を認識できない**ため、病院にいる意味が分からない状態にあります。その結果、家に帰ろうとしたり、歩き回ったりします。

まずは、話を聞き「今こんな気持ちなんですね。」と**気持ちを代弁**しましょう。その後、「**帰りたい**」という思いから離れるような話題を振り、落ち着くまで話を聞きましょう。



4. 患者さんが自分で決めることを大切にする

自分で決める機会が少なくなることは、「何もできない」、「自分らしくいられない」など患者さんの**自尊心を低下**させてしまう要因にもなります。

スプーンと箸どちらを使うか、どのシャツを着るかなど、**自己決定ができるように働き掛**けていきましょう。



5. きっかけづくりで、患者さんの今ある力を最大限に生かす

すべてを忘れているのではなく、体で覚えた記憶はちょっとしたきっかけで引き出すことができます。

箸の使い方が分からない場合など、そっと手に箸を添えてみることで、**体で覚えた記憶**を引き出すことができます。



思い返してみればあっという間の初期研修だったと思います。この2年間で病院のスタッフと患者さんを初めとして多くの方と関わり、様々なことを経験して、学ばせて頂きました。この場をお借りして振り返ってみたいと思います。

一番成長できたと思う点は患者さんを目の前にして何かしら動けるようになったことかなと思います。研修始まったばかりのころは患者さんを目の前にしても何をしたらいいのか分からず、悩んで立ち尽くすことが多かったです。頭ではこの検査をしたいと考えても、余計な検査ではないのか、副作用が出たらどうしようと常に怖がっていました。磐井病院の研修の特徴は外来や病棟、救急と幅広い場面で診療に主体的に参加できることだと考えています。また、指導医の先生と相談しながら研修医が患者さんの検査の予定や治療方針について検討し、多くの実践経験を積むことができました。まだまだ足りないことも多いですが、症状と全身状態を評価して検査を進めていくという一連の流れをできるようになったのは自分の中で成長できたことかなと思います。

上記の内容とつながりますが、磐井病院の初期研修の特徴は地域の優しい人柄に支えられながら研修できることにあると思います。正直な話、思い返せば色々と失敗してきたなと思います。手際も悪く患者さんを待たせてしまったり、採血が上手くいなくて何回も痛い思いをさせてしまった事もありました。数えだすときりがなく、その内容だけでこのページが埋まってしまうかもしれません。それだけ多くの失敗を重ねてきましたが、研修を無事に終えられたのは両磐地域の人柄が優しく、怒らずに接してくれたからだと思います。



どれだけすごい医師でも最初から失敗をせずに何でもできたという方はいないと思います。多くの失敗を積み重ねてすごい医師になれたのだと研修を通して感じました。私も磐井病院の研修で学んだことやできるようになったことだけでなく、失敗経験も今後の医師人生に活かしていきたいです。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症が流行している特殊な状況の中で研修が始まりました。最初の1年間ではインフルエンザの患者に出会う事もなかったり、オンラインで学会発表を行ったり、以前とは全然違う環境だったと思います。そんな状況ではありましたが同期や後輩、指導医と一緒にご飯を食べたり、学会で福岡に行ったりと楽しいことも沢山ありました。充実した研修生活を送ることができ、磐井病院で研修を行えたことを嬉しく思います。これまで関わってきた全ての皆様、本当にありがとうございました。

この文章を書いていると最後の言葉みたいに見えますが、実は来年も居ます！

立派な消化器内科医になれるように精進を続けていきたいです。今後ともよろしくお願いします！！

医療福祉相談室のご案内

医療費・生活費
が心配

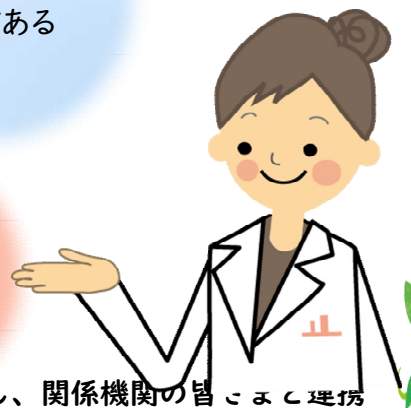
病気について
不安・心配がある

仕事について
不安がある

医療・福祉の
制度について
聞きたい

退院後の
生活が不安

福祉サービスや
転院について
聞きたい



患者さんやご家族が安心して生活できるように、一緒に状況を整理し、関係機関の皆さまと連携しながら、解決に向けた支援をさせて頂きたいと考えております。

また、がん相談支援センターとして、がん患者さんやそのご家族の相談窓口にもなっております。お困りごとがございましたら、ぜひ、医療相談室へご相談ください。

場所：1階患者支援センター内 時間：平日 8:30～17:15

患者紹介について

当院では、外来診療が予約制となっております。そのため、患者さんの紹介につきましては、予めFAXでの受診予約をお願いしております。（当日受診を希望される場合は、直接担当医師まで電話にてご相談ください。）出来る限り早めの回答を心掛けておりますが、診療スケジュール確認等のため、若干お時間をいただくことがありますので予めご了承願います。（急ぎの返信が必要な場合は、その旨をFAX用紙にご記入願います）大変勝手なお願いではございますが、今後ともスムーズな診療に協力の程宜しくお願い致します。

岩手県立磐井病院 紹介センター
(FAX) 0191-21-3990 まで



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>